

令和2年度実証事業 下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について（令和3年3月）

○水位計と光ファイバー温度分布計測システムに AI を組合せた雨天時浸入水調査技術の実用化に関する実証事業（日本水工設計・ペンタフ・ワイケー技研・シュアテクノソリューション・ベクトル総研・さいたま市・藤沢市共同研究体）

令和元年度に引き続き、水位計と絞り込み AI を用いた雨天時浸入水発生ブロックの絞り込み技術、光ファイバー温度分布計測装置と浸入水検出 AI によるラインスクリーニング技術等の完成に向けて令和2年度の実証研究が行われ、一定の成果が得られて、ガイドライン化が図られた。

今後は、技術の速やかな普及展開を図るとともに、教師データの追加等による浸入水検出 AI の更なる精度向上を期待する。